

2022年5月15日（日）10:00～12:00 「森の玉手箱」研修内容

集 合：10:00 植草学園大学駐車場

持ち物：自然観察ができる服装と靴・帽子・軍手・コップ（お茶）・採集袋とカッターナイフ（フキのお土産）・飲み物・敷物・雨具・筆記具・カメラなど

挨 拶：10:00～10:15

挨拶・今日の予定「印刷物あれば配布」

参加者の自己紹介「各1分程度 15人として15分」

内 容：10:15～11:00

1. 雑木林の自然散策

①雑木林の構造「コナラ・クヌギの落葉樹林とスギの人工林、竹林」

4階建ての構造「草本類・低木・亜高木・高木」

雑木林の境界線は土手や樹木

方位の確認と水系と池の存在

放置された雑木林と整備された雑木林はどう違う

②コナラ・クヌギ林とシラカシ林での実生調査

1mの方形枠づくりをして、実生の生長を季節を追って観察

コナラ・クヌギの実生をポットに入れて持ち帰り、育てる

③樹木・草花・昆虫の調査

雑木林を代表する樹木調査

落葉広葉樹「コナラ・クヌギ・イヌシデ・エゴノキ・ハリギリ
エノキ・クサギ・

常緑広葉樹「シラカシ・マテバシイ・アカガシ・シロダモなど」

常緑針葉樹「スギ・ヒノキなど」

低木「アオキ・センリョウ・マンリョウ・ヒイラギなど」

ツル植物「フジ・アケビ・キツタ・ナツツタなど」

草花「エビネ・キンラン・ギンラン・ジュウニヒトエなど」

昆虫「チョウ・甲虫などを調査」

④アズマネザサを採集してお茶にする「カップの用意」

⑤フキの採集「カッターと袋を持参」

2. 講師3人からのお話 11:00～11:45（1人15分）

田島先生：雑木林でできる工作について

環境教育プログラムの紹介「これまで実施した内容」

石井先生：自然観察会の導入部分で行われるプログラムの紹介

アイスブレイキング「これまで実施した内容を紹介」

亀井先生：火起こし体験「弓ギリ式：1セット その他3セット」

・弓ギリ式：一人で弓をひいて火を起こす体験

・3～4人が1組 2人が紐をひき、1人が棒を支え、
残る一人は火種を麻に包んで火を起こす

3. 研修を振り返って 11:45～12:00

参加者の皆さんからのご意見を頂戴し、交流を深めます。

次回の日時と内容を告知